

## 第8回総会研究会予告

石田 輝子

第8回総会研究会会長 兵庫県立成人病センター

平成11年度の総会研究会及び実務者研修会、自由集  
会を以下のように兵庫県神戸市で開催いたします。

日時 総会研究会 平成11年9月14日(火)

実務者研修会、自由集会 9月13日(月)

場所 兵庫国際プラザ「交流ホール」

(神戸市中央区脇浜海岸通 国際健康開発センタービル3F)

主題 「地域がん登録の予防医学への貢献」

地域がん登録は歴史の長い県では1960年代後半から  
行われており、その成績は年報、研究論文として発表  
されてきました。地域がん登録によってのみ得られる  
地域の罹患率、医療状況、生存率はがん対策に不可欠  
であり、各登録室は、精度の高いこれらの成績を継続  
して算出し公表できるように多大の努力をしています。  
しかし、現実には、がん登録の存在、その成果は意外  
と衛生行政の担当者(市町、保健所の実務者等)、医療  
関係者に知られていません。また行政の担当部局でも、  
施策の中に、得られた結果を生かしていく姿勢が見ら  
れないように思われます。

現在、がん登録を取り巻く状況はより厳しくなって  
きています。財政的な面では昭和58年より施行された  
老人保健法に基づく「健康診査管理指導事業実施要綱」  
の中で「成人病登録・評価事業」は都道府県の行う事  
業の一つとして位置づけられ、補助金が交付されてい  
ましたが、平成10年度より一般財源化され、「要綱」  
が「指針」となったため、事業の見直しをしようとし  
ている県がでています。また、個人情報保護の観点か  
ら、「個人情報保護条例」が制定されている自治体では、  
「本人の同意のない情報収集」が審議会で承認される  
ために、審議会の示す条件を整える必要が生じていま  
す。これ等に抗して登録事業を発展させていくため  
には、更なる知恵と努力が必要です。

登録の発展のためには、登録事業担当者だけの努力だ  
けでは限度があり、広く医療従事者、健康・福祉事業に  
携わっている人、一般住民にも理解し支援してもらう必  
要があります。そのためには登録によって得られた成果  
をそれぞれに解りやすい形で提供して、利用していただ  
く必要があります。どのようにすれば、がん登録は、単  
なる「数字」の羅列でなく、健康・福祉対策の企画、健  
康教育、医療の評価及びその支援、疫学研究、環境モニ  
タリング等に活用ができることを示せるか、また、それ  
をとおして登録事業を後押ししてもらえるシステムを  
作る事ができるか考え合いたいと思います。

プログラムはまだ具体的に決まっていますが、内  
容として以下のような企画を持っています。

1. 教育講演；登録先進国で登録によって得られた成果が  
どのようにがん予防対策、環境モニタリングに用いら  
れ、がん予防に効果をあげているか。日本でも得られ  
ている成果からがん予防にどのような提言が可能か。
2. 招待講演；兵庫県で昭和62年より行ってきた「ひよ  
うご対がん戦略会議」の中でがん登録の果たした役  
割及びがん登録に将来的に期待する事
3. シンポジウム「がん登録の予防医学への貢献」；
  - ①一次予防とがん登録(一般健康診査、健康調査等  
を用いたがん発生リスクの検討、一次予防対策の評価)
  - ②医学介入ががん発生リスクに及ぼす影響(大腸が  
んと大腸ポリペプチド、肝癌とワクチン、インターフェロン療法等)
  - ③二次予防とがん登録
  - ④成果の発表(利用しやすい形でのデータの提供)
  - ⑤電子媒体を用いたデータの公表
4. 近畿地域のがん登録室の紹介
5. 実務者研修会「コーディングの正確度を高めるために」；
  - ①厚生省がん研究助成金による「地域がん登録」班が  
平成10年度に行ったPilot Studyからの話題(入力  
データのエラーチェック法、エラーの実態、診断  
コード、組織コード、進行度間の整合性、上皮内  
癌の取扱等について)
  - ②悪性リンパ腫の分類

非力ではありますが、有意義な総会になるよう準備  
を致しております。皆様お誘い合わせのうえ多数ご参  
加くださいますようお願い申し上げます。

連絡先 〒673-8558 明石市北王子町13-75

兵庫県立成人病センター検診センター

検診センター次長(事務) 大西進(内線451)

がん情報調査室 谷口恵子(内線478)

TEL 078-929-1151 FAX 078-929-2380

### 編集後記

本協議会を設立し、協議会の形をつくられた藤本伊三郎  
先生が辞されることとなり、大島明先生が大任を引き継い  
で下さることとなった。交替のご挨拶をそれぞれに記して  
いただいた。山口先生には、一般にあまり知る機会がなか  
ったがん克服十カ年戦略による研究分野での、地域がん登  
録に関係する取り組みを紹介していただいた。馬淵先生  
は、地域がん登録が疫学研究にいかにより大きな武器となり  
うるか、を示された。第8回総会研究会はプログラムが期待  
される。ご多忙の中、時間を割いていただいた全ての先生  
方に御礼申し上げます。(花井彩、藤田学)